

回覧

まとい 消防情報誌



第50号 令和8年4月 発行 恵庭市消防本部予防課

春の 全道火災予防運動

期間 4月20日(月)～4月30日(木)

全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

山火事注意

山火事を起こすも防ぐも私たち

これからの季節は雪が溶けて暖くなり外へ出かけることも増えます。「登山や山菜取りなど、入山される人も多いのではないのでしょうか?」ちょっとした不注意で楽しい時間が恐ろしい火災へと変わってしまいます。次のことに気をつけましょう!



- ・タバコの投げ捨てはしない。
- ・ごみ焼きはしない。
- ・火遊びはしない。
- ・山菜採りなどで、入林する際は火の取り扱いに注意しましょう。



【第42回 防火ポスター】



有明町少年火防団
三浦 桜さん

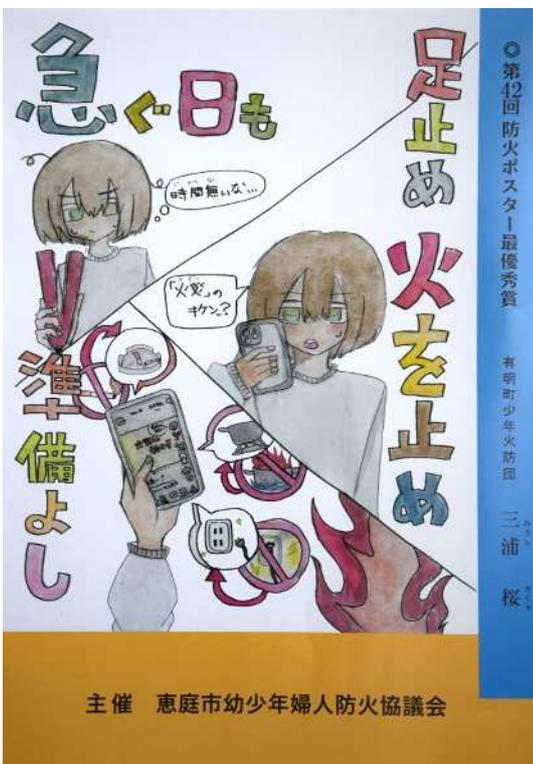


恵庭市幼少年婦人防火協議会が主催した、第42回防火ポスター募集において最優秀賞に選ばれた作品です。

「標語を上手に表現したデザインと、女の子が防火に対して注意深く考えて行動しようとするメッセージが伝わってくる素晴らしい作品です。」

この作品は、4月中旬から市内の大型店舗や公共施設に掲示されます。

4月18日(土)～4月30日(木)まで、防火ポスターに応募していただいた23作品を花の拠点「はなふる」にて展示します。



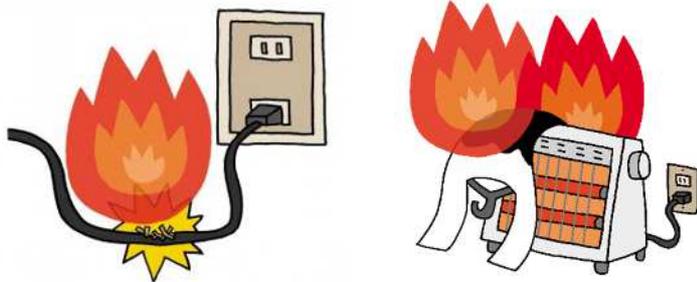
主催 恵庭市幼少年婦人防火協議会

裏面もご覧ください。



🔊 ごぞんじですか？

地震による火災の過半数は電気が原因です！



電気火災対策には、「感震ブレーカー」が効果的です！

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

大規模地震時の電気火災対策として感震ブレーカーの普及推進が必要であるとされたことを踏まえ、恵庭市火災予防条例の一部が改正されます。

主な感震ブレーカーの種類 (製品ごとの特長・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！)

分電盤タイプ (内臓型)

費用：約5～8万円 (標準的なもの)

※電気工事が必要

分電盤に内臓されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

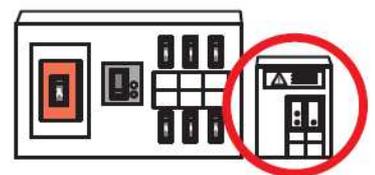


分電盤タイプ (後付型)

費用：約2万円

※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



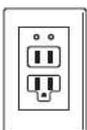
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

コンセントタイプ

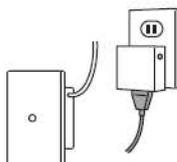
費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内臓されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型) 壁面などに取り付け使用するもの



(タップ型) 既存コンセントに差し込んで使うもの



※電気工事が必要

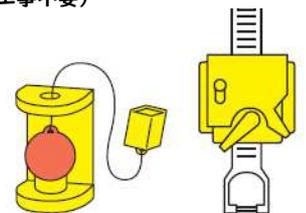
※電気工事が不要

簡易タイプ

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能 (電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

※ 消防職員が販売したり、販売を依頼することはありません。

【お問合せ先】

恵庭市消防本部予防課 ☎0123-33-0990

